

平成28年度 当初予算（案）

# 主な事業の説明書

水道局

.....目

次.....

款 項 目 大事業	ページ
平成28年度上水道事業会計予算	11-1
配水施設拡張改良事業	11-2
大曲上水道宇津台浄水場更新事業	11-3

# 事 業 説 明 書

上水道事業会計

(施策の大綱) 上水道の整備

(施策) 水道施設の整備

(基本事業) 施設の改良・更新

継続

課所名： 水道局 上水道課

『事業名』 上水道事業

【28年度】 1,362,491 千円 【27年度】 1,067,506 千円 【増減額】 294,985 千円

※28年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			1,362,491	

【その他】 上水道事業会計 1,362,491千円

**1. Plan (計画：事業の目的及び目標)**

使用者ニーズの把握によりサービスと負担の適正化を図るとともに、計画的に更新事業を進め、清浄にして低廉豊富な水道水の安定供給を図り、公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与することを目的とする。

【数値目標（平成28年度の業務予定量）】

1. 給水戸数	14,351戸	(H27	14,295戸)
2. 年間総配水量	4,172,103m <sup>3</sup>	(H27	4,241,391m <sup>3</sup> )
3. 一日平均配水量	11,430m <sup>3</sup>	(H27	11,620m <sup>3</sup> )

**2. Do (実行：これまでの実績と成果)**

平成21年度に国の水道ビジョンに準じる大仙市地域水道ビジョン「大仙市の水道」を策定し、「安全で安心な水の安定供給と持続」を基本理念に、本市水道事業のあるべき姿が明確化され、その実現に向けた基本方針や方策を定め、鋭意取り組んできた。この結果、最も生活に密着した欠かすことのできないインフラとして、未普及地域の解消や給水区域の拡張が実施されている。

**3. Check (評価：問題と課題)**

上水道事業は昭和34年に供用を開始し、以来、50年余りが経過している。供用開始当初は、公衆衛生の向上による生活環境の改善が大きな役割であったが、現在は少子高齢化や家族構成の変化、省エネ意識の浸透、節水機器の普及等により、水需要は大きく減少している。

他方で、施設設備が更新期を迎えているほか、ライフラインとしての水道施設の重要性が認識されており、災害時においても安定的に供給できるような施設設備の耐震化が急務となっている。更には水質やサービスに関する使用者ニーズへ対応するとともに、増加傾向にある未収金徴収への対応が必要となってくる。

**4. Act (改善：今後の方向性と28年度事業の概要)**

国が作成した新水道ビジョンに準じる『大仙市新水道ビジョン』を策定し、今後も「安全で安心な水の安定供給と持続」を基本理念に、本市水道事業のあるべき姿を明確にし、その実現に向けた基本方針や方策を定め、鋭意取り組んでいく。

【収益的収支予算】

上水道事業収益	882,036 千円
営業収益	823,688 千円
営業外収益	58,347 千円
特別利益	1 千円
上水道事業費用	746,299 千円
営業費用	673,444 千円
営業外費用	69,855 千円
特別損失	1,500 千円
予備費	1,500 千円

【資本的収支予算】

資本的収入	46,152 千円
工事負担金	1,000 千円
負担金	0 千円
補償金	40,000 千円
出資金	5,152 千円
資本的支出	616,192 千円
建設改良費	480,894 千円
企業債償還金	135,298 千円

※収入額が支出額に対し不足する額については、過年度分損益勘定留保資金337,526千円、減債積立金100,000千円、建設改良積立金100,000千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額32,514千円で補てんする。

# 事業説明書

上水道事業会計

(施策の大綱) 上水道の整備

(施策) 水道施設の整備

(基本事業) 施設の改良・更新

継続

課所名： 水道局 上水道課

『事業名』 **上水道事業 配水施設拡張改良事業**

【28年度】 117,078 千円 【27年度】 75,580 千円 【増減額】 41,498 千円

※28年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			117,078	

【その他】 上水道事業会計 117,078千円

**1. Plan (計画：事業の目的及び目標)**

上水道未普及地区へ上水道を延長するための配水管拡張整備を進める。また、水道水の安定供給、濁り水発生防止及び適正な水圧を確保するため、老朽配水管の更新及び耐震化を進めるとともに末端配水管の改良を行う。さらに、他団体及び他事業の事業施行に伴い、支障となる水道管の移設を行う。

平成28年度の工事実施区間の配水管は布設後40年から50年余を経過しているため更新するものであり、今後も経年劣化した配水管の改良を計画的に継続実施していく。

**2. Do (実行：これまでの実績と成果)**

拡張事業により未普及地域の解消と、給水収益の確保による経営基盤の安定化が図られた。また、老朽配水管の更新により濁り水や漏水事故による断水の防止、適正な水圧で水の供給を行うことができています。

	H22	H23	H24	H25	H26
更新延長(km)	1.8	3.7	3.7	3.8	1.9
管路総延長(km)	282.6	285.2	286.7	287.8	288.8
更新率	0.64%	1.30%	1.29%	1.32%	0.66%

※更新率0.79% (全国平均値)

**3. Check (評価：問題と課題)**

現在の管路更新率0.7%(H26)で全ての管路の更新を行った場合には、約140年掛かってしまう状況であり、年間の更新延長を大幅に増やす必要があるが、人口動向等に注視しながら、限られた財源の中で効率的な整備を行っていくことが必要となってくる。

**4. Act (改善：今後の方向性と28年度事業の概要)**

漏水事故や濁り水の発生しやすい管路について、優先的に改良を実施し、有収率の向上を図るとともに、安全で安心な水道水の安定的な供給を目指す。

- (1) 配水管布設工事 10,930 千円
  - 1. 内小友字下田谷地地内(拡張工事) L=240.0m
- (2) 配水管改良工事 41,278 千円
  - 1. 金谷町地内 L=85.4m (老朽管の取替工事)
  - 2. 大花町地内 L=296.2m (老朽管の取替工事)
  - 3. 戸巻町地内 L=34.7m (老朽管の取替工事)
  - 4. 西根字杉矢崎地内 L=176.0m (老朽管の取替工事)
  - 5. 金谷町地内 L=220.0m (改良工事に伴う舗装復旧工事)
- (3) 配水管移設工事 64,870 千円
  - 1. 藤木上橋架替事業に伴う配水管移設工事(新規)
    - 1) 藤木字東八圭・上野中地内 L=163.1m
  - 2. 県道側溝整備事業に伴う配水管移設工事(新規)
    - 1) 大曲日の出町地内 L=44.0m
  - 3. 公共下水道整備工事に伴う配水管移設工事(継続)

# 事 業 説 明 書

上水道事業会計

(施策の大綱) 上水道の整備

(施策) 水道施設の整備

(基本事業) 施設の改良・更新

継続

課所名： 水道局 上水道課

『事業名』 上水道事業 大曲上水道宇津台浄水場更新事業

【28年度】 345,718 千円 【27年度】 76,470 千円 【増減額】 269,248 千円

※28年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			345,718	

【その他】 上水道事業会計 345,718千円

**1. Plan (計画：事業の目的及び目標)**

宇津台浄水場は運用開始から50年以上経過しており、経年劣化が顕著で、突発的な障害発生の危険性が高まっている。そのため、施設設備の更新とともに、集中監視設備の導入等による機能強化、施設の耐震化を進めることにより、安全で安心な水道水の安定供給を目指す。

【新浄水場築造工事実施期間：平成28年度～平成30年度】

**2. Do (実行：これまでの実績と成果)**

平成25年度：更新予定地の地形・用地測量業務委託等

平成26年度：実施設計業務委託等

平成27年度：更新予定地の土地購入・立木補償、工事用道路測量設計業務委託等

これまで、用地測量・実施設計・用地取得等の実施により、事業費の算出と利害関係者への説明等を実施しており、平成28年度からの本体工事着工へ向けて円滑な事業推進を図っている。

**3. Check (評価：問題と課題)**

実施設計の結果、施設仕様の見直しや昨今の物価上昇等の影響により、当初想定された事業費よりも増大した状況となっている。このことから、事業を円滑に推進していくために、企業債借入を増額して、事業費の確保に努めていく。

**4. Act (改善：今後の方向性と28年度事業の概要)**

事業が長期に渡るとともに事業費が多額のため、工事内容を精査し、併せて経費の圧縮を図る。また、料金収入による自主財源と、企業債借入予定額の再検討を行い、事業費の財源確保に努める。

事業効果として、施設設備の更新とともに機能強化を図ることにより、危機管理機能と水質管理の容易性が向上し、より安全で安心な水道水の安定供給が可能となる。

総事業費	平成25～27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
3,098,399千円	92,108千円 <small>(実施設計・測量等)</small>	345,718千円 <small>(築造工事・監理委託)</small>	1,828,390千円 <small>(築造工事・監理委託)</small>	802,183千円 <small>(築造工事・監理委託)</small>	30,000千円 <small>(既存施設解体工事)</small>

工種別事業費および事業内容

土木工事	660,000千円	造成工事、浄水処理施設築造工事、排水排泥池築造工事、各種配管工事、擁壁工事、場内整備工事
建築工事	430,000千円	浄水処理施設棟・車庫棟建築本体工事、建築付帯電気・機械設備工事
機械設備工事	1,190,000千円	浄水処理設備工事、薬注設備工事、排水排泥池設備工事
電気設備工事	660,000千円	受変電設備工事、自家用発電機設備工事、浄水処理設備工事、薬注設備工事、監視制御設備工事、水質監視設備工事、取水ポンプ制御設備工事
その他	158,399千円	実施設計業務、用地等測量業務、土地購入費、各種補償費、既存施設解体工事